

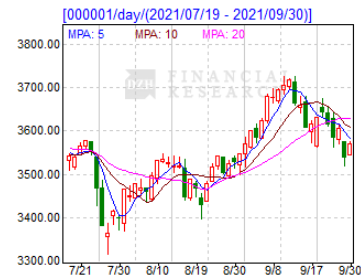


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,326.46	482.54	1.43	-1.36	12.15	30,606.48
NASDAQ	14,566.70	118.12	0.82	-3.20	13.02	12,888.28
日経225	28,771.07	-681.59	-2.31	-4.89	4.83	27,444.17
上海総合	3,568.17	31.87	0.90	-1.24	2.74	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,866.38	32.45	0.67	0.35	-6.62	5,211.29
ハンセン	24,575.64	-87.86	-0.36	1.59	-9.75	27,231.13
中国企業	8,726.38	-34.06	-0.39	1.41	-18.74	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.6%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は1.2%安

香港市場は1日が国慶節で休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で1.6%高と3週ぶりに反発した。前週末までの下落を受けて買い戻しが先行。中国恒大集団を巡る資金繰り問題がくすぶるなか、中国人民銀行が「不動産市場の健全な発展を守る」と表明したことで懸念が後退。一方、米長期金利の上昇や企業統制強化への警戒感から週央以降はネット株の売りが強まった。本土市場も国慶節の連休入りで4日間の取引。不動産問題や電力不足が意識されるなか、上海総合指数は4日間で1.2%安と3週連続落した。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、南向き取引は国慶節で7日まで休止

香港市場は上値の重い展開か。中国恒大集団の資金繰り問題が意識されるなか、半導体不足による製造業の減産や電力不足による工場の操業停止が発生するなど景気の先行きに警戒感が強まっている。国慶節に伴う本土市場の休場で本土から香港への南向き取引も7日まで休止。米長期金利の上昇でハイテク株やグロース株も売られやすく、米雇用統計の発表を前に週末にかけて慎重姿勢が強まる公算が大きい。本土市場は国慶節の連休のため7日まで休場。休場中の海外市場の動きに左右される展開となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園服務 (06098)	61.50	14.63
2 龍湖集團 (00960)	35.90	8.79
3 九龍倉置業地産 (01997)	40.30	8.77
4 華潤置地 (01109)	32.85	8.60
5 CNOOC (00883)	8.70	7.81
6 碧桂園 (02007)	8.05	7.48
7 薬明生物技术 (02269)	126.50	7.39
8 招商银行 (03968)	62.05	6.52
9 長江実業地産 (01113)	45.10	5.74
10 新世界發展 (00017)	31.85	5.46

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国中信 (00267)	8.30	-4.71
2 信義光能 (00968)	15.96	-3.74
3 小米集团 (01810)	21.35	-3.39
4 ペトロチャイナ (00857)	3.69	-2.89
5 吉利汽車 (00175)	22.35	-2.83
6 舜宇光学科技 (02382)	204.80	-2.66
7 瑞声科技 (02018)	37.15	-2.49
8 創科実業 (00669)	155.10	-2.45
9 中国平安保険 (02318)	53.25	-1.84
10 アリババ集团 (09988)	142.20	-1.46

▼今週の主なイベント

- 10月4日(月)
- 【中国】国慶節で休場(～7日)
- 10月8日(金)
- 【米国】雇用統計(9月)

▼今週の期待材料

- ◆中国人民銀行金融政策委員会が「不動産の健全な発展を守り、住宅消費者の合法的な権益を守る」と表明
- ◆香港のデジタル商品券の第2期分3000HKドルが10月1日から配布開始、消費活性化に期待高まる公算
- ◆中国で10月1日から1週間の国慶節連休、大型連休中の旅行や娯楽など消費拡大に期待高まる

▼今週の懸念材料

- ◆中国恒大集団の資金繰り問題でデフォルトへの警戒感くすぶる、リスク回避の動きが強まる可能性も
- ◆本土市場が7日まで国慶節の連休で休場、本土から香港の南向き取引も7日まで休場に
- ◆中国の9月の製造業PMIが1年7カ月ぶり50割れ、電力不足による操業停止などが影響

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 自社株買いを継続、9月30日までに発行済み株数の0.06%に
- ☆ レノボグループ (00992) : 「科创板」への上場申請を上海証取が受理
- ☆ BYD (01211) : 9月の新車販売台数が90%増加、新エネルギー車は3.6倍に拡大
- ☆ 理想汽車 (02015) : 9月の「理想ONE」納車台数が2倍に拡大、7-9月は2.9倍
- ☆ 小鵬汽車 (09868) : 9月の納車台数が3倍に拡大、月間納車台数で過去最高を更新
- ◇ ASMパシフィック (00522) : 車載カメラ装置の米AEI社の買収を発表
- ★ ペトロチャイナ (00857) : 中国当局が凌元副総裁を重大な規律違反で調査
- ★ 中国アルミ (02600) : 中国で電力不足が深刻化、生産活動への懸念強まる可能性も
- ★ 雅居樂集团 (03388) : 造園・内装子会社の分離上場計画を白紙撤回
- ★ トリップ・ドットコム (09961) : 業者に二者択一を迫る独禁法違反疑惑が浮上

レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。